

1日目 7月13日

会 場： 松江市営野球場

第1試合	～1回戦～ (8回コールド)																	
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
江津・浜田水産	0	0	0	0	0	0	0	0								0	2	1
開 星	0	2	2	0	0	0	0	3x								7	10	1
(投手－捕手)																		
・ (江・浜)	益野 ー 岩崎																	
・ (開)	曾田→百合澤 ー 蓮池																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (江・浜)	小玉																	
・ (開)	山本、田村、肥田												前井出、小田原					
(審判) [球審]	杉原			〔一塁〕 森島				〔二塁〕 藤原周				〔三塁〕 宮野						
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(江・浜)	29	2	0	1	0	0	10	4	0	2	5	0		1	0	0	0	0
(開)	40	10	7	3	0	2	5	9	2	1	10	1		1	0	0	0	0

「夏の高校野球島根県大会、開幕戦は開星制す」

夏の全国高等学校野球選手権島根県大会が7月13日に松江市営野球場で開幕した。この日は開会式と1回戦1試合が行われた。開会式では新型コロナウイルスの影響で入場行進に不参加の高校が実に 校に及んだ。選手宣誓は島根県立大社高校の立花主将が務めた。同大会は、松江市営野球場と県立浜山球場を会場に順調に進めば、松江市営野球場で27日に決勝戦が行われる。また、今大会は4年ぶりに1回戦から全試合有観客で開催され、バーチャル高校野球では同大会初となる全試合生配信が行われる予定となっている。

開幕戦は、優勝候補の開星と江津・浜田水産の連合チーム(以下連合チーム)の対戦となった。試合は連合チームが試合前のノックを約1分で切り上げるなど試合開始前から奇策を用いて仕掛けていった。

試合は、2回裏、開星が4番山本の中越2塁打で先制の好機を作ると、続く5番小田原がセンターへ抜ける適時打を放つ。安打と四死球に相手の失策も絡み、無死満塁とし8番杉本が四球を選び押し出しで追加点を奪った。開星は3回裏にも3番の前井出、5番小田原が本塁打を放ちリードを広げた。しかし、その後は連合チームのエースの益野が厳しいコースを攻め得点を許さない粘りの投球を見せる。

対する、連合チームは4回表に四球で得た走者が盗塁を決め、得点圏に走者を進めるが開星先発の曾田が空振り三振仕留め反撃を許さない。8回表にも2番手百合澤を攻め、1死1塁で1番小玉が直球を捉えレフトへ安打を放つと、左翼手が足を滑らせ後逸する間に1塁走者が本塁を狙ったが、中堅手と遊撃手の見事な中継に阻まれ本塁で刺殺され得点できず、最終的に2安打と抑え込まれた。

開星は8回裏に、1死満塁の好機を作ると1番肥田の右越2塁打で2点を追加すると、更に2死満塁とし4番山本がレフトへの適時打を放ち7点差を付け8回コールドで2回戦へ駒を進めた。しかし、連合チームも投手を中心に守りが固く、様々な工夫が見られた点差以上に内容の濃い好ゲームだった。

